

意見交換会・管内視察報告書（広報広聴委員会）

提出日： 令和6年1月25日

議員名	真田 光夫
日時	令和6年1月22日（月）～1月23日（火）
場所	千葉県船橋市
相手先	千葉県船橋市
成果・所感等	
<p>(1) 相手先の意見（聞き取り内容）</p> <p>人口：646,322人、面積：85.62k㎡、予算2239億円 高齢者率：24.0%、市議会議員：50人（男性33人、女性17人）（広報常任委員会：12名、職員5名） 市職員：5040人、非公式キャラクター：ふなっしー、H23年より常任委員会化 議会だより：257回、インターネット中継字幕導入：UDトーク（音声認識アプリ）</p> <p>① SNSの活用について</p> <p>H25年度よりSNS運用開始。予算は0円 LINE@：3575フォロワー、Twitter(X)：1118フォロワー（R6年1月） 年間150回程度配信している ホームページなどのリンク先を貼り「誘導機能」が中心</p> <p>良い点</p> <ul style="list-style-type: none">・費用が発生していない・配信は全て事務局が行っている・運用方針や文章定型文がありマニュアル化している <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none">・人口に対してフォロワー数が少ない・船橋市とのHP連携がなされていない <p>② 「ふなばし市議会だより」について</p> <p>約30万世帯に全戸配布のポスティング ポスティングの委託先 障害福祉施設17箇所 約80% 老人クラブ6団体、社会福祉協議会1団体 一般事業者1社</p> <p>新聞折り込みの時より配布範囲が広がったが、配布時間が40日から45日程度かかっている 高齢者団体のポスティングエリアが狭くなってきている S39年創刊で58年が経過、257回発行している フルカラーA4版16頁 市民から1面の写真やイラストを公募している 極力役所言葉を使わないようにしている 明朝体からゴシック体へフォントを変更した タブロイド版からA4版に変更した 見やすくなった、通勤電車内でも読めるようになった 光沢が出て見えづらくなった、 お金がかかっていると思われる 議会で特に伝えたい議案などタイトル議案の概要へ掲載 4回の校正を経て概ね1ヶ月程度で発行 R4決算 2863万9275円 印刷製本など：約1200万円、ポスティング委託料：約1500万円</p>	

③ 点字版市議会だより（視覚障害者に送付）

業務委託 社会福祉法人 千葉県視覚障害者福祉協会
決算額 265521 円

④ 音声版市議会だより（視覚障害者に送付）

カセットテープ版→ H2 年 5 月から CD 版発行
業務委託 社会福祉法人あかね
フレックストークソフトを活用
決算額 40763 円

⑤ 議会への関心を高めてもらうための取り組み

① 議会見学会

小中高生を対象に議会見学会、意見交換会を実施

② 出前講座

市内の高等学校へ出向いて出前講座を実施している
R4 初めて実施
市議会の仕組みや役割を行った
生徒との活発な意見交換が行われた

③ 市民アンケート

1 船橋市議会について

- Q：船橋市議会への関心
A：関心がある・少し関心がある人の割合約 5 割
Q：船橋市議会の会議の視聴経験
A：傍聴したとインターネット見た 1 割弱
Q：市議会の情報の入手手段（複数回答）
A：市議会だよりが約 5 割

2 船橋市議会議員について

- Q：市議会議員の活動内容
A：知っているが 3 割近く
Q：市議会議員選挙の参加状況
A：毎回行くが 5 割を超える、全く選挙に行かないは 1 割
Q：投票率の向上に最も必要なこと
A：投票したい議員がいることが約 3 割で最も高い
Q：市民の声が市議会に反映されているか
A：反映されていると思うは 1 割に満たない
Q：市議会議員に意見や要望を伝えた経験
A：伝えたことがあるは約 1 割
Q：市議会議員への要望（複数回答）
A：地域の課題解決力と住民の意見を吸い上げることが 5 割超え

3 今後の船橋市議会について

- Q：船橋市議会に必要な取り組み（複数回答）
A：議員の資質の向上が 4 割近くで最も高い
2 位：インターネットなどを利用した情報発信 31.8%
3 位：市民の意見を聴く意見交換会の開催 30.3%
4 位：議員定数・議員報酬の見直し 27.9%
5 位：議会が政策提言や政策立案の強化 22.4%

④ UD トーク（音声認識ソフト）

R3 年 2 月から本会議の生放送を聴覚障害者向けの字幕配信実施

(2) 意見交換で感じたこと等

まとめ・感想

船橋市では、SNS や市議会だより、アンケートなど様々な手段を活用して市民とのコミュニケーションを図り、議会に対する市民の関心を高めようとしている取り組みが見受けられます。特に SNS の利用やアクセシビリティへの取り組み、市民アンケートを通じて市民の声を反映しようとする姿勢は評価されます。一方で、SNS のフォロワー数や市議会だよりの印刷費用など、課題も指摘されており、これらを克服するための戦略の検討が求められます。総じて、市民とのコミュニケーションの強化が進められているが、改善の余地があると言えるでしょう。

アンケート結果の所感

1. 船橋市議会への関心：

アンケート結果から約 5 割が「関心がある・少し関心がある」と回答しており、市民の中には議会に対する一定の関心があることが示されています。これは積極的なコミュニケーションや情報発信が市民に影響を与えている可能性があります。

2. 船橋市議会の会議の視聴経験：

インターネットでの視聴経験が 1 割弱と低い結果となっています。これは、議会のオープンさやアクセシビリティの向上に課題がある可能性があります。情報発信手段の拡充やアクセシビリティの向上が求められるかもしれません。

3. 市議会の情報の入手手段：

市議会だよりが約 5 割で最も多く、これが市民の主要な情報源であることが分かります。この手段を強化することで、市民への情報提供がより効果的になる可能性があります。

4. 市議会議員について：

市議会議員の活動内容を知っている割合が 3 割近くとなっており、これは改善の余地があると考えられます。市民とのコミュニケーションや活動の透明性を高めることが求められています。

5. 今後の船橋市議会について：

議員の資質の向上が 4 割近くで最も高い要望となっています。これは、市民が議員に対して一定の期待を抱いていることを示しています。同時に、情報発信や市民との対話の強化も要望されています。

総じて、市民の船橋市議会に対する期待は高い一方で、情報提供や議員の活動内容の透明性に対する要望も明確です。これらのフィードバックを踏まえつつ、議会の透明性向上と市民との連携を深める施策が重要と言えます。